



表千家同門会米国東部支部の設立 15 周年を心よりお祝い申し上げます。

この 15 年間、表千家同門会米国東部支部は茶道を通じて日米文化交流を深める重要な役割を果たしてこられました。特に、米国東海岸地域における日本文化の理解と発展に大きく貢献し、当地ニューヨークやペンシルベニア州のフィラデルフィア等で行われた茶会や文化イベント・教育活動は、地域社会との絆を強め、日本の伝統文化を紹介する貴重な機会になっています。

表千家とニューヨークとの関わりは古く、今からおよそ 70 年前の 1954 年（昭和 29 年）にニューヨーク近代美術館（MoMA）の中庭に松風荘が建設・展示された際に、表千家として家元書の掛軸や茶道具一式を寄贈されたことが始まりと伺っています。その後、松風荘はフィラデルフィアに移築され、現在に至るまで米国有数の素晴らしい日米文化交流拠点となっていますが、今でも定期的に茶会が催され、地元の方々に日本文化の深さと美しさを直接体験いただいていると承知しています。このような歴史的背景も踏まえ、表千家同門会米国東部支部が、茶道を通じて日本文化を広める活動を積極的に行ってこられたことに深く感銘を受けています。

また、同支部が行ってきた茶道文化の教育活動においても、茶道の理念や技法を次世代に伝えるための数々の努力が行われており、地域社会における文化的な理解を深める重要な役割を果たしてきたことは、次世代への文化の継承に大きな意義を持っています。このような取組が、さらに多くの人々に日本文化を伝え、日米両国間の友好と理解を一層強固なものにすることを期待しています。

改めて、表千家同門会米国東部支部の設立 15 周年を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

在ニューヨーク日本国総領事・大使  
森美樹夫